

自校の児童の体力や運動に関する意識、体力の向上への取組状況を確認し、次年度の取組に生かすために

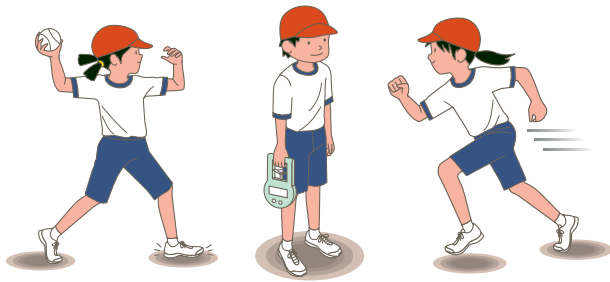
学校用確認シート 小学校

1 自校の状況を確認してみましょう。

結果資料CDを活用すると、自校の調査結果を確認することができます。
結果資料CDを活用し、自校の状況を表に記入してみましょう。



CDの活用法は、
同送の報告書p.5
を参照。



子供の体力は、横ばいか少しずつ向上の傾向にありますが、ピーク時であった昭和60年頃と比較すると、依然として低い状況が続いています。

●昭和60年度と平成28年度の比較で、特に差の大きい種目

種目	性別	昭和60年度	平成28年度
ソフトボール 投げ	男子	29.94m	22.41m
	女子	17.60m	13.87m
握力	男子	18.35kg	16.47kg
	女子	16.93kg	16.13kg
50m走	男子	9.05秒	9.38秒
	女子	9.34秒	9.61秒

確認1 ▶ 自校の実技の結果を確認

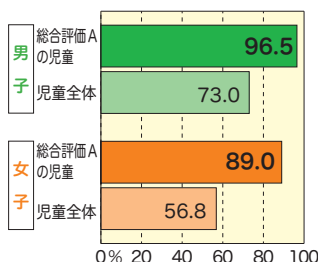
(平成28年度)

種目	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ソフトボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
男子	全国平均	16.47	19.67	32.88	41.97	51.88	9.38	151.42	53.93
	都道府県平均								
	自校の平均								
女子	全国平均	16.13	18.60	37.22	40.06	41.29	9.61	145.34	55.54
	都道府県平均								
	自校の平均								

確認2 ▶ 自校の児童質問紙調査の結果を確認

実技の総合評価と、児童質問紙調査の「①運動やスポーツをすることが好きか」「②自主的に運動やスポーツをしたいか」「③体育の授業が楽しいか」の肯定的な回答には、関わりがあります（報告書p.15参照）。

●「運動やスポーツをすることは好きですか」に対する「はい」の回答率



①運動やスポーツが好きか

【質問1】運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。

	好き	やや好き	ややきらい	きらい	
男子	全国	73.0%	20.3%	4.6%	2.0%
	都道府県				
	自校				
女子	全国	56.8%	31.0%	8.9%	3.4%
	都道府県				
	自校				

裏面で、②、③についても確認してみましょう。

②自主的に運動やスポーツをしたいか

【質問5】中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。

		思う	思わない	分からない
男子	全国	75.1%	6.1%	18.9%
	都道府県			
	自校			
女子	全国	68.2%	6.8%	25.0%
	都道府県			
	自校			

③体育の授業は楽しいか

【質問17】体育の授業は楽しいですか。

		楽しい	やや楽しい	あまり 楽しくない	楽しくない
男子	全国	73.3%	21.6%	3.7%	1.5%
	都道府県				
	自校				
女子	全国	60.4%	31.3%	6.5%	1.9%
	都道府県				
	自校				

2 自校における体力の向上への取組を確認してみましょう。

体力の高い児童の多い学校は、体力の向上に向けた様々な取組を行っていることがわかりました。

(学校質問紙の結果より)

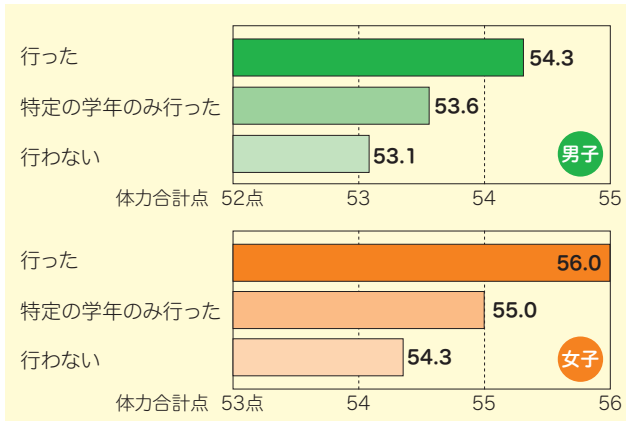
確認3 ▶ 自校の取組状況を確認

体育の授業

【質問4】平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて授業等の工夫・改善を行いましたか。

行った 特定の学年のみ行った 行わない

●体育の授業の工夫・改善と体力合計点との関連

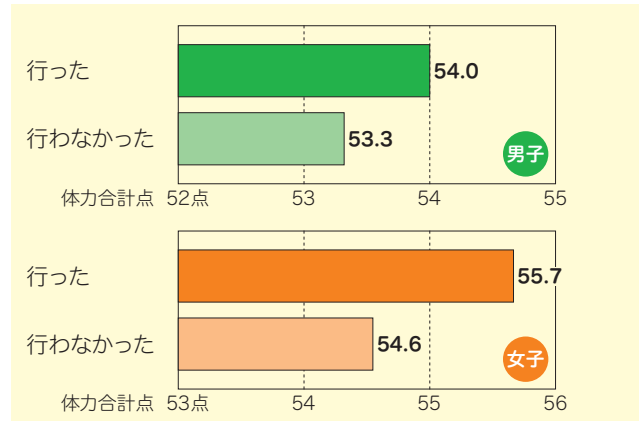


体育の授業以外

【質問14】平成27年度に、体育の授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組を行いましたか。

行った 行わなかった

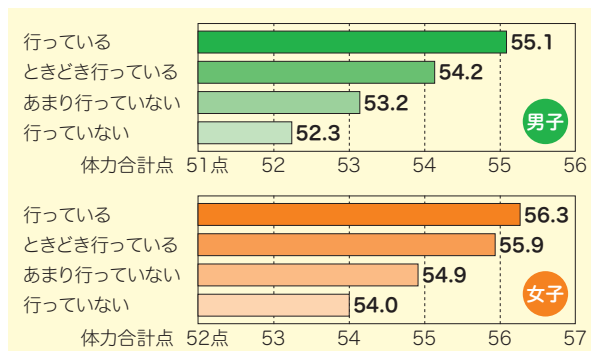
●体育の授業以外の取組と体力合計点との関連



●調査の結果、こんなこともわかりました。

体力の向上には、体育の授業における振り返りの習慣化も大切!

「【児童への質問19】ふだんの体育の授業では、授業の最後に今日学んだ内容を振り返る活動を行っていますか」と体力合計点との関連



子供の体力の向上という視点から捉えると、「授業の最後に今日学んだ内容を振り返る活動」を行っているかが影響していることが読み取れます。これは、教師が「振り返る活動」を取り入れているかの回答に関わらず、子供自身が「振り返る活動を行っている」と回答していることが重要です(報告書p.130参照)。

「振り返る活動」を通して、自分の成長を実感したり新たな課題を見つけたりできるように、教師は授業の中で目標を明確に示し、ねらいに合った学習活動を取り入れることが大切です。それらは子供たちの大きな成長へとつながります。

●報告書や結果資料CDを活用し、これらの取組以外にも自校と全国の取組状況を確認しましょう。(報告書の裏見返しにある「取組チェックシート」も活用ください。)